

トラフグの漁獲実態と標識魚の混入状況について

千葉県では、資源の維持増大、漁業者の収益力向上を目的にマダイ、ヒラメ、アワビなどの種苗を生産・放流しています。また、トラフグを新規対象種として放流効果調査を行っています。本報では、トラフグの漁獲実態と放流魚（標識魚）の混入状況を報告します。

1. トラフグの基本情報

千葉県沿岸で漁獲されるトラフグは、静岡県から三重県沿岸が主な漁場である伊勢・三河湾系群に由来していると考えられています。同系群の産卵期は4～5月、成熟年齢は雄で2歳、雌で3歳、成長は満1歳で全長26cm（体重0.4kg）、満2歳で40cm（1.4kg）、満3歳で48cm（2.9kg）、寿命は10年程度とされています。

静岡県、愛知県、三重県の合計漁獲量は、不定期に発生する卓越年級群の影響により大きく変動し、1993～2017年漁期は64～567トン、2018年漁期は63トンとなっています。

2. 千葉県におけるトラフグの漁獲実態

千葉県におけるトラフグの漁獲量（2013年漁期まで12漁協、2014年漁期から19漁協の合計）は、2001年漁期以降約2～5トンで推移していましたが、2011、2017、2018年漁期はそれぞれ7.2トン、11.1トン、12.6トンと好漁でした。地域別には夷隅、内房、内湾の割合が大きくなっています（図1）。

2018年漁期の漁獲量（12.6トン）の漁法別割合は、はえ縄60%、小型底びき網15%、定置網13%で、水揚金額（計50百万円）では、はえ縄が87%を占めました（図2）。

2018年漁期の平均単価は3,927円/kgで、漁法別には、はえ縄5,631円/kg、小型底びき網760円/kg、定置網1,366円/kgでした。はえ縄の漁獲物は1歳魚^{※1}（1kgを超える）以上が主体で需要の高い12月を中心に漁獲されることから単価が高く、小型底びき網の漁獲物は0歳魚^{※2}（約0.1～0.5kg）が主体であることから単価が安いと考えられます。

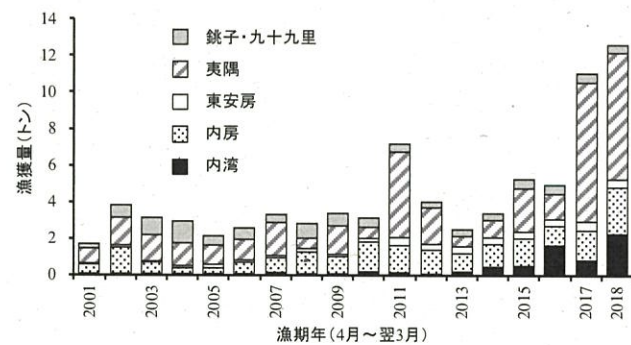


図1 千葉県における地域別トラフグ漁獲量（2013年漁期まで12漁協、2014年漁期から19漁協）

※2014年漁期以降は一部データ欠損のため暫定値

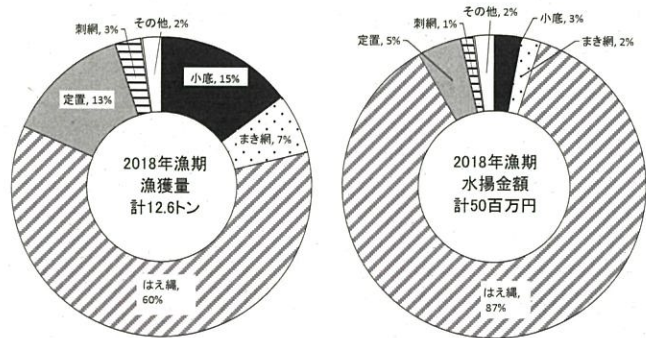


図2 2018年漁期漁獲量・水揚金額の漁法別割合

※1 4～5月に生まれ翌年10～11月頃から漁獲されるもの

※2 4～5月に生まれその年の9月頃から漁獲されるもの

3. 標識魚の混入状況

放流効果を把握するために、2017～2019年に、トラフグの背中と腹にある小さい棘を有機酸（酢酸）で溶かして除去する「有機酸標識」（図3）を行った種苗を試験放流しました。

放流場所は木更津市金田の干潟及び南房総市富浦の砂浜で、表1に記載のとおり放流し、市場などで漁獲物中の標識魚の混入状況を調べています（図4）。

これまでの調査結果では、標識魚の混入率は、2018年漁期の1歳魚では、船橋・富津で42.9%（内湾放流群28.6%、内房放流群14.3%）、竹岡で23.1%（内湾放流群14.2%、内房放流群8.9%）となっています（表2）。これらのことから、種苗放流により一定の資源量の増加が期待できるものと考えられ、引き続き調査を行っています。

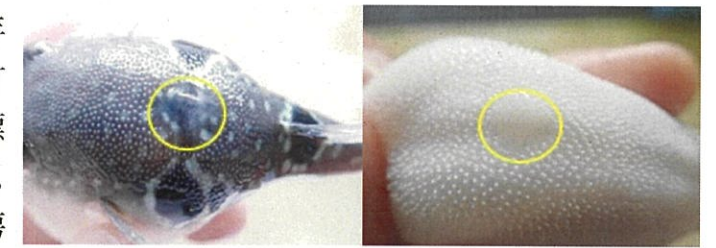


図3 有機酸標識をしたトラフグ種苗
○部分が標識部位（体表の小棘を除去）

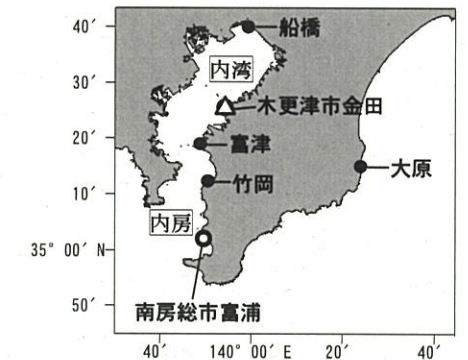


図4 種苗放流、市場調査等の実施場所
△：内湾放流場所，○：内房放流場所
●：市場調査・買取調査場所

表1 有機酸標識による試験放流実績

放流日	放流群名	放流場所	放流尾数(尾)	平均全長(mm)
2017年7月3日	内湾放流群	金田(干潟)	6,732	56
	内房放流群	富浦(砂浜)	6,870	
2018年7月17日	内房放流群	富浦(砂浜)	2,585	73
2019年6月28日	内湾放流群	金田(干潟)	2,038	57
	内房放流群	富浦(砂浜)	2,544	

表2 有機酸標識魚の混入率

調査場所	2017年漁期		2018年漁期			
	0歳		0歳		1歳	
	2017年放流魚		2018年放流魚		2017年放流魚	
	内湾放流群	内房放流群	内湾放流群	内房放流群	内湾放流群	内房放流群
船橋・富津	10.7%	0.0%	— ※	0.5%	28.6%	14.3%
竹岡	0.0%	1.7%	— ※	0.9%	14.2%	8.9%
大原	(漁獲対象外)		(漁獲対象外)		0.4%	0.0%

※ 2018年は内湾放流群なしのためデータなし

タグ付きトラフグを探しています！！

当センターでは、2015年に青、2016年に赤のアンカータグ（右図・写真参照）を付けたトラフグ種苗を放流しました。発見しましたら、当センター資源研究室（TEL：0470-43-1134）までご連絡をお願いします。情報を提供いただいた方には記念品を進呈いたします。

